

## リベラル鈴鹿 板倉 操 議員

### 多文化共生の鈴鹿づくり推進について

(質問) 鈴鹿国際交流協会の役割の強化が重要だと考える。本市は、平成23年に「鈴鹿市多文化共生推進指針」が策定されたが、それ以前から先進市として注目されてきた。しかし、近年外国人市民を取り巻く環境が大きく変化し、製造業での雇用の減少、多国籍化など新たな課題が発生している。このような中、指針に沿った施策の進捗管理はされて

いるか。また、行政が担いきれない部分を国際交流協会が担うべく、行政と交流協会とが推進指針を確認し合う必要があると考えるがどうか。

(答弁) 多文化共生社会の実現に向け、推進指針を策定し、これまで各種施策を講じ庁内でも進捗管理や情報共有を進めてきた。国際交流協会は外国人市民の身近な相談窓口であり、多文化共生の重要拠点として認識している。今後も外国人市民を取り巻く環境の変化を見極め、国際交流協会と連携をより強化しながら進めていく。

## 平明の会 山中 智博 議員

### 気候変動のまちづくりへの影響と適応策について

(質問) 近年は各地で、経験したことのない異常気象が観測され数多くの災害に見舞われている。①本市の気象の実態は。②国が勧める温暖化の影響を軽減する「適応策」への考え方は。③河川整備の現状と方針は。④河道掘削のスピードアップが必要では。⑤今後の防災啓発活動は。

(答弁) ①過去10年余りでは大雨警報の発表数や平均気温の変化に際立った傾向はなく、気温

と降雨量の関係性も明確でない。②まずは適応計画を策定中の三重県や他市の取り組みを研究する。③鈴鹿川でも完成堤防は約64%と依然、改修が必要。国に河川整備計画の早期策定も強く働きかける。④鈴鹿川をはじめ県管理の金沢川、堀切川、中ノ川などでも中・下流部で土砂の堆積が顕著である。処分費用や処分先の問題もあるが、喫緊の課題と捉えている。⑤地域の自発的な活動促進のためリーダー養成にさらに取り組む。

#### その他の質問

○テロ対策における危機管理体制について

## 公明党 池上 茂樹 議員

### 公園管理について

(質問) 防災機能拠点である桜の森公園には、みんなのトイレが3カ所設置されているが、重度の障がいを持たれた方がオムツ交換できる、成人用ベッドが設置されていない。誰でも利用できるように成人用ベッドの設置を提案する。また、深谷公園の有効利用として、鈴鹿市営のドッグランを深谷公園の芝生広場に造れば、近隣市

でも例のない取り組みとして、特色ある公園になり、深谷公園の利用促進にもつながると考える。ドッグランの設置について提案する。

(答弁) 重度障がい者のオムツ替え用ベッドの設置について検討していきたい。また、ドッグランについては、地元自治会の理解を得ながら、先進地も参考に調査研究していきたい。

#### その他の質問

○地下道冠水による事故防止対策について  
○プレミアム付き商品券について

## 鈴鹿の風 平野 泰治 議員

### 今後の行財政運営について

(質問) 総合計画2023を始めとし、都市マスタープランや地域福祉計画など、さまざまな計画が今年度末には策定される。今後の行財政運営をどのように進めていくのか。

(答弁) 総合計画2023では、行政力と市民力の向上を自治体経営の二本柱としている。行政力の向上では、予算編成、評価体系、行財政改革

等のプロセスが、総合計画の進行管理を行う体系の中で、PDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルを適切に行う総合的な行財政経営システムを構築し、効率的な行政経営を行う。一方、市民力の向上では、地域が総ぐるみでまちづくりを行っていく新たな組織が必要であり、平成30年度には、市内全地区での地域づくり協議会の設立を目指し、必要な条例等の制定や総合交付金、職員の支援体制などの制度設計を急ぎ、市民との協働によるまちづくりに取り組む。